

第7回 リニアまちづくり構想市民委員会 協議記録

平成26年1月28日 午後15:00～

恵那市防災センター研修室

【会議次第】

- 市長あいさつ
- 委員長あいさつ

[協議・報告事項]

1. リニアまちづくり構想（案）について

2. 今後の進め方について

3. その他
 - (1) リニア整備に係る最近の動きについて

 - (2) 第8回リニアまちづくり構想市民委員会（予定）について

企画部長	<p>本日はお忙しいところリニアまちづくり構想の市民会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>市民委員会もこれまで多くの会議を経て、3月にリニア構想も最終決定をするが、その前に2月15日の広報恵那でパブリックコメントを行う。本日はそのパブリックコメントにかける最終的な段階の案をまとめて頂くという、そういう委員会である。</p> <p>それでは会の開催にあたり、磯部委員長からご挨拶を頂戴する。</p>
委員長	<p>11月の末のある学会の行事で中津川市周辺の見学会をやらしていただいた。その中で一番印象的だったのは、恵那山がよく見えたということである。よく駅前にモニュメントを作らないといけないというが、ある意味で、もうできている。そういう風を感じた。この地域もそういうものを生かしたまち、よそ様が来ても楽しいまちとなつたらいいと思う。</p>
企画部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは続いて、市長からご挨拶を頂戴する。</p>
市長	<p>今日は竹内アドバイザー、そして県、中津川市からもお越しいただいた。</p>

	<p>ありがとうございます。</p> <p>1月23日に可児市を含めた東濃6市と、御嵩町の6市1町のリニアの連絡会議というのがあり、知事とお話をさせていただいた。少し紹介すると、まず一点は広域交通網ということで中津川・恵那市の中心市街地と駅を結ぶ道路の整備が随時できないかということ、そして今盛んに言っている瑞浪恵那道路、それと国道418号丸山バイパス、そして三河東美濃連絡道路構想の実現と、こういったところを是非していただきたいと要望をしてきた。そして、その会議の中で知事がこういうことをおっしゃった。名古屋から、富山・石川の方へ抜けて龍が昇っていくような形の昇龍道ということで、観光圏を作っていこうと、今中部運輸局が中心になって動いている。他の県にはいろいろメニューがあるけど岐阜県にはそのメニューがない。例えば一泊二日・二泊三日とかのメニューがないので売り物にならないと、こういう話があった。まさにその通りだと思う。中津川と恵那と下呂を含めた観光ルートをつくれるよう呼びかけている。これらかも進めていけたらいいと思う。</p> <p>そして、明知鉄道のリニア駅への延伸である。これは中学生と市長の語る会でも言われているが、是非そういうことができればこの地域の活性化にもつながるし、SLのこともあるので、できたらどうかということをお願いさせていただいた。</p> <p>それから、企業誘致だとか開発等の際にどうしてもネックになる土地利用の規制について、緩和していただけないかと、申し上げてきた。各組長からいろんな意見をさせていただいた。私はこれらのことを申し上げてきた。</p> <p>それからもう一点、1月15日に三菱電機伊丹製作所と恵那市との企業立地協定をさせていただいた。やはり今までは地理的な条件不利で、恵那はなかなか難しいと思っていたが、駅設置の発表があつての初めての企業立地であるから、まさにその現れかなと私は思っている。これは瑞浪恵那道路の整備計画もあるということで、それを見込んでの立地もあるということだが、その三菱電機の伊丹製作所は2月28日に起工式をし、今年の11月に完成して、来年の4月から創業する。当面100人の雇用が拡大できるということで、そのことを報告しながらご挨拶とさせていただく。</p>
委員長	まず一番目にリニアまちづくり構想案について説明をお願いしたい。
事務局よりリニアまちづくり構想案に関する資料説明	
委員長	只今の事務局側からの説明に対して、ご質問とかご意見とかあればお願いしたい。
委員	<p>3点ほどお尋ねと考え事をお話したい。</p> <p>恵那市の強みというページの中にある住宅の動向の中に対応すべき課題として、約1300戸の空き家が存在している。これについては、利用可</p>

	<p>能な状況であるか、あるいはどのような地域にこの空き家が存在しているのか。その空き家を活用できるかどうか。この課題については私ども地域協議会としても、13地域がこの3つの視点にたって、それをさらに具体化していくという作業がこれから出てくるかと思っているので、1300戸の空き家については活用できるものもあれば戸数としては上がっているけども全く活用できないというようなことなのか、その点について教えてください。</p> <p>それから、広域交通の課題について、前回からご議論していただいている中で、三河東美濃連絡道路の課題もある。さらに県道豊田明智線は、豊田もしくは岡崎、あるいは瀬戸といった方向の人口集積地域からリニアに直接向かう活用もあると思うが、むしろ恵那市のそれぞれの地域の観光に誘導しやすいような交通アクセスになってくる。この二つの課題については、岐阜県からもお越しいただいているので、岐阜県と愛知県とこの課題について共有をしていただくと同時に、具体化の方向で一步前へ踏み出るような、進め方をお願いしたい。考え方があったら、お聞きをしたいと思う。</p> <p>それから岐阜県駅から恵那市は大井町・長島町・武並町を通過し、瑞浪に入るというルート上の中で、大井町は岐阜県駅から明かり区間の高架部分もあり、トンネル区間もある。あるいはトンネル区間であっても土被りの浅いトンネル区間があり、阿木川を渡って長島町へ入る。このような課題があるので、私たちも地域協議会を中心としながら自治連合会やまちづくり組織などといろいろな諸団体の皆様方を含めてこの課題を中心とした大井地域のまちづくりについて、大井町まちづくり町民委員会というのを新たに発足して、いろいろな角度で今議論させていただいている。</p> <p>また、明かり区間のところの岡瀬沢地域、それから県道恵那峡線をくぐる地域、そしてさらに阿木川を渡っていく地域について、リニアに関する対策委員会というのを設置し、三つの委員会の連絡会議もしながら、三つの委員会から出てくるさまざまな要望だとか課題を大井町の地域協議会が集約して、恵那市の方に一括して申し上げながら、国・県に関わる事柄の整理、あるいはJR東海に問題提議をすることを今後進めていきたい。</p>
委員長	大きく三つのご意見・ご質問があったが、事務局願います。
事務局	<p>一つ目については、38ページの表にある1300戸の空き家について、こちらは住宅統計調査という統計調査に基づく空き家の戸数である。ただし、委員がおっしゃられたように地域ごとの戸数であるとか、今現在の空き家が活用できる状況かどうかなど、細かいところについては、現在資料を持ちあわせていないので、また調べてご提供するようにいたします。</p> <p>それから二つ目の広域交通については、豊田明智線それから三河東美濃連絡道路の構想について、当然岐阜県だけそれから恵那だけというわけにはいかないの、恵那市や中津川市も含めて、岐阜県にも愛知県にもご理</p>

	<p>解いただけるように要望活動を進めていきたいと思っている。</p> <p>それから三つ目の大井町の三地域の地域対策委員会だが、まずJRに対しても、国や県に対しても、恵那市のリニアまちづくり課が市民の第一の窓口ということの位置付けの中で対応させていただきたいと思っている。</p>
委員長	ありがとうございます。他、いかがか。
委員	<p>この会議で話すべきことではないのかもしれないが、今回の構想というのはリニアが通ったらどうするのかというところが視点だと思う。つまりこれから現実的に調査があったり、あるいは設計があったり、具体的な工事が始まったり、さまざまなことが14年間の工程で予想される。それぞれに恵那の市民が関わるかということがとっても重要な問題だと思っている。これは基盤整備部会でも少し話したが、既に私の住んでいる三郷町には関連の方が来て、残土の処理に関する土地が欲しいという話がある。そういうことも含めて、現実的なことをどこの委員会で議論するのかということが一つ質問だ。</p> <p>今後、ボーリング調査だとかさまざまな調査などが行われる。そこでは出来る限り理想的には恵那市の調査は恵那市の事業者がやった方がいいと思う。あるいは、調査結果によっては、さまざまなことが分かると思うので、そのデータをJRにどのように開示してもらうかも含めて、何かを決定するような場が必要ではないかなと思う。</p> <p>残土の問題はものすごく深刻である可能性があり、ほとんどトンネルだから莫大な量の砂なり岩なりが出てくることが明確に予想されているので、既に動いている方々もたくさんいらっしゃるということである。</p>
委員長	<p>工事の前に詳細設計があると思うが、それがあって工事が行われる。工事が終わったらまた元に戻すところは元に戻すという、そんな手順になる。それに対して市民の生活にいろいろな支障があるとか、利便性が上がるなどいろんなケースがあるが、その辺が懸念だ。それはこの会議でも最初からずっと話はあったが、また事務局からその対応というかお答をお願いしたい。</p>
事務局	<p>確かにいい影響もあれば、これから懸念される内容もあるという中に残土の問題が当然入っている。これについては、岐阜県のリニア推進事務所からご説明していただきたいと思う。</p>
リニア推進事務所	<p>残土の関係でご質問があった。一義的には事業主体であるJR東海が処理場を考えてどういうふう to 処理をするかというそのあたりをJR東海が行うべきことであるが、残土の処理をするということになれば本当の地元はそうですし、地元の市町さんも当然関わってくるということで、そのあたりの調整窓口として県の私どもリニア事務所が関わらせていただいている。</p> <p>具体的には今、環境アセスの手続きが進んでおり、今月17日までに各市町から県へ提出いただいております、今県の環境課で中身を見せてもらいな</p>

	<p>がら J R 東海に出す知事意見を検討しているところだ。</p> <p>残土については、各市町からの意見の中でも出されていると思うし、他県の公聴会とかの状況を見ても、具体化していないという意見がある。どこに残土を捨てるのかという前提があって初めて環境アセスができるのに、そこのところがまだ決まっていないのに環境整備できないじゃないかという意見が非常にたくさん出ているのも実際のところ。そのあたり県も J R 東海と色々な調整は進めているが、具体的にどこでどういうふうに分するといいところまではまだ至ってないところだ。考え方として、できるだけ透明性も維持しながら、処分方針・処分場所・処分方法を決定していきたいと思っている。</p>
委員長	<p>今の議論とか先ほどの意見を考えると、今回リニアまちづくり構想というので、先の話をしている。それは事実だが、もう一つ懸念されている話が工事から完成に向けての市民の方々のいろいろな懸念される話をどういうふうにまとめてやっていくのか。それが市とか県の方では窓口があるという話があるが、そこと市民の方々とどう接点をつけるのかが課題だ。</p> <p>それがこの会議の性格なのか、また別途そういうのを作らないといけないのかなと意見を聞いて感じた。</p> <p>何か具体的なものが起きた頃に市民の方々が誰に相談したらいいのか、直接、市役所へ行けばいいのか、市民が集まるようなところで相談するのがいいのか。そこが悩みの種ではないかと感じた。</p>
リニア推進事務所	<p>今の流れとしては、J R 東海が場所を探してきて地元のご理解を得ながら捨てるという方向がベストなのかもしれないが、まずは候補地について各市町を通じて可能性がありそうなところをリストにあげて、それぞれの箇所についてどんな状況でできるか、そういった手続きを踏みながら最終的に J R 東海と調整をするというような段階で、県の方で調整窓口というような形をとらせていただいております、今その候補地をあげて頂いているような状況である。</p>
委員	<p>今のやり取りのこしを折るようなことになるのかもしれないが、まちづくり構想案の最後に参考資料という部分があり、まちづくり構想市民委員会の要項の第二項に、この委員会を次に掲げる事項についてうんぬんとある。今、いろいろ言われたようなことは本当に市民生活にかなりいろいろ関わってくると思うので大切なことだとは思いますが、まちづくり構想市民委員会の役割と全く別物だというふうに考えないといけないのではと思う。これから先どうやってソフト面について検討するとか、ソフト面を重視してやっていく為にハード面がこうあるべきだという具体的なところだとかというのが、当然考えていかねなければいけない。そうすると、このまちづくり構想市民委員会の役割というのは、パブリックコメントを経て、市長に対してまちづくり構想市民委員会ではこれをご提案するというところまでがこの委員会の役割ではと思う。</p>

	<p>ここにあげられている200項目近いプロジェクトは、市が全部できるはずない。最初の段階でそれを検討するというのが第一段階であるので、それを検討した上で実行していくかどうかを決めればいい。どういうハードを揃えないといけないか、それをどうやって生かしていくか。そういったやり取りの中に、ハード・ソフトの間にハード面が必要だというやりとりが必要である。</p> <p>これから先こういうものがオープンになってくると、例えば組織・地域・団体・あるいはもっと個人的な考え方というのをベースにした、いろんな話が出てくる。それを当然、交通整理をするということが必要になってくる。大きな声をあげた人の声が届くのではなく、本当に必要かどうかの優先順位を決めたり、優先順位を決めた段階で、それをどうやって生かせるかということ。生かせないようなものを優先的に上にあげても仕方がないといったようなところをしっかりと検証していくようなことがないと、いけないのではと思う。</p> <p>いろんな立場でいろんな意見を言われるのは、これからたくさん出てくるかと思うが、特に生かしていくということを考えた上での取り組み方をどうしていくかということが、これからの検討課題になっていくのではと思う。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>構想は計画用語で言うと細かいことはあまり書かない。大きい方向性を書くのが構想ということだが、それならそれを実現するためには何らかの推進委員会など、そういう方によっていろいろと具体的な案を出していただくことになるだろう。</p> <p>また、もうひとつは俗にいう対策委員会がある。これからいろいろなそういうグループを市民の方で組織化して適切な行政の担当課とうまくタイアップして、やっていくのかなと思う。この点について事務局から発言あればお願いします。</p>
事務局	<p>それでは環境のことと、この構想をどのように進めていくか、この2点についてお話をします。</p> <p>まず、環境のことについては、さきほどから話が出ているように、市の意見として県知事に環境に対する意見を提出した。これは市の環境審議会でも意見を諮問し、いろいろ議論していただく中で答申を頂いた。その時の付帯意見として、リニア中央新幹線についての環境保全、建設に伴う諸問題、開業後の公害等についての行政窓口の設置を求めると書かれている。私どもも市民の相談窓口としての機能を果たしていこうと思っているが、この環境審議会でもこういうご意見をいただいている。行政窓口と県とで協力をしながら、またJRとも協議をしていきながら進めていきたいと思う。</p> <p>それから構想については、これからパブリックコメントで市民の意見を</p>

	<p>頂き3月に最終決定をする運びになる。それから14年をかけて、この構想に書いてあるさまざまな事業に取り組んでいく。その進行管理、あるいは応援組織をどのように作っていったらいいのか、そのことについてはもう少し検討させていただきたい。</p>
委員長	<p>この委員会の位置付けと、今後の話というのがいくつか出ましたので、そういったような内容の審議をさせていただいた。</p> <p>他、細かい話でもかまわないが、いかがか。</p>
委員	<p>観光協会は、恵那峡の再整備のいろいろな論議に参加をしていて、ここ2、3年具体的な話が協議されている。坂本から恵那峡は顔の部分だと思う。広域の遊歩道なども必要になるが、そのことがアクションプランに反映されていないが、総合計画の中で更に肉付きがされるだろうと思う。具体的にもう来年から恵那峡再整備が動いていく。</p> <p>それからもう一つ、基本的に恵那峡の人たちは今の道路を、恵那峡へどう駅からアクセスさせるかがある。県との関係や幹線ネットワークということもあると思うが、北ルートということで今回入ってはいるが、新しい部分がどういう機能になるのかということや、住宅、宅地の立地の可能性や、工場の立地の可能性もあるので、そのあたりを基盤整備のところでの補足としてアクションプランに入っていたらいいのではと思う。</p>
委員長	<p>今のご質問に対して事務局お願いします。</p>
事務局	<p>恵那峡再整備について行政では恵那峡再整備事業として観光部局で実施計画を練っており、現総合計画の中で取り組んでいる。</p> <p>アクションプランについては、恵那峡再整備ということで広域の遊歩道などもここに入っていると認識している。詳細な個別事業を取り上げるというようなことは今のところ予定していないので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>それから北ルートの整備や、宅地開発なども記述したほうがいいのではとのだが、それについては十分意識をしながらアクションプランの中でも、可能性の調査というような形で取り組んでいきたいと思っている。</p>
委員長	<p>北ルート辺りの話というのは、この会議でも最初の方ではなく、色んな話が出てきてやっと今日の段階まできたのかなというのがあがる。私も都市計画審議会の方をやっているが、北側はすごく大雑把な土地利用となっていて、どういう街にしたいか、都市計画としても、ちょっとぼやけている。それと連動してやっていくのであろうと思う。</p>
竹内アドバイザー	<p>今日は細かい点で気になることだけ申しあげたい。北ルートの件だが、本文のページ84ページにあたる所、図面の方で北ルートの検討って矢印が入っている、これは非常にうまい書き方をされている。要するにこういう所でまだ基本構想の段階、この幅の広い中で実現可能性の一番高いルートを探そうと、その全体を北ルートと言っている訳である。だから、その表現で結構だと思う。だが、84ページで、「北ルートやその他のルートも含めて」と書いてある。この北ルートという言葉は、非常に狭い意味で使っ</p>

	<p>ている。この表現がまずいのではないかなと思う。「アクセスを確保できる北ルート幅広い観点から検討することを含めて関係機関との」とかしておいた方がいいと思う。</p> <p>それで、北ルートということがここに出てきただけでこれは、都市計画道路の道路網の見直しをして、具体的には計画変更の手続きを取りながら話を進めていくことになると思う。そこで細かいルートは議論すべき。だから、これでいいが、アクションプランという話があって、中を見ると表現方法が少しまずいのではと思う。つまり、今、アクションプランに書かなければいけないことは、都市計画道路網の見直しを即着手しないといけないということ。あるいは、ほかの都市計画に関しても用途地域を新たに設定することを考えなければいけない、そういうような作業がアクションプランの項目の中に出てこないといけない。</p> <p>それから、もう一つは道路の検討について、沿道利用型道路というのは、言葉の意味がわからないなという気がする。これが図面を見るとどこのことかわからない。やはり図面との整合はとっておいていただいた方がいい。</p> <p>もう一つは、工事が始まってくると土砂を運ばないといけない。運ぶ作業、それから捨てる場所これが一番住民生活に直接的に影響を与えるということが大事なことだろうと思う。本編の 99 ページ、100 ページにそのパートナーシップによる取り組みの推進ということでイメージが書いてあるが、先の土砂を運ぶ話がすぐ出てくるという話からすると、ここはイメージだけではまずいのではと思う。</p> <p>市民へは JR からあるいは JR の仕事を受けている鉄道運輸機構の人が動く可能性があると思う。そういう人たちが、尋ねてこられて、「どこか土捨てるところありませんか？」と聞かれたら、どこへ相談に行ったらいいのかという窓口をはっきりさせておくことが、当面一番大事だ。先ほどの説明では、市でもいいしそれぞれの地域事務所、出先でもいいし、それから県でもいいとすべて並べられた。おそらく市民にとってはそれが一番不安で、「どっか決めてくれ」という話である。この 100 ページの記載あたりのところでこのイメージの後に、当面の相談窓口をこういうところに開設するということを設定するというくらいの記述はあってもいい。</p>
事務局	<p>市から県、それから JR というように、協力をして頂きながら進めていくということで、あくまでも第一次的な窓口は市で作るということである。よろしく願いたい。</p>
竹内アドバイザー	<p>もう一つは、66 ページ、移住定住に関するところで、二行半ほど赤い字で書き込まれている。ただ、これもやはり漠然と書いておられる、このあたりはもう少しはっきりとこの委員会としても方針を出しておくべきだったと思う。</p> <p>何を申し上げたいかという、中部車両基地への通勤者、新たにここで雇用が発生し、その数は大体 1000 人前後だろうと予測している。1000 人</p>

	<p>前後、そうすると多めに見積もると人口としては家族人口を入れ 3000 人から 4000 人くらいだ。恵那市内へ 3 分の 1 というくらいに考えたら恵那市でも 1000 人以上だ。たくさん引っ張り込む事もできるし、逃げられることもある。だから、これはある程度作戦というのは早く打ち出してアピールしておかなければいけない。</p> <p>1300 戸空き家があるなら、その 1300 戸を使おうというのが今一番の課題である。新たにここに就職する人たちに 1300 戸市内に散らばっているから適当なところ探さないと言っていたら誰も探さない。だから空き家を活用するのであれば、市でサービス窓口をやらないといけない。それ以前に 1300 戸のうちのいくつ使えるのかという調査をやらないといけない。</p> <p>現実にはこういう従業員というのは、一塊で団地を整備供給することになると思う。そうすると数百戸からの住宅団地っていうのはちょっとした開発行為である。もちろん都市計画行政の所管事項だから、都市計画審議会や行政で話してもらわないといけない。</p> <p>この市民構想委員会としても、そのことをどういう方向でやるのがいいという意思表示が本当は出来ていると良かった。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。道路の計画の話が出た。都市計画マスタープランを 2 年ほど前に作った。その時点ではリニアの位置が決まっていないので盛り込めないとしているが、注意書きがあり、リニアの位置が決まったら早急に見直すこととしている。</p> <p>移住・定住の話としては、北ルートの周辺に JR 系の人を集めて進んだ方が恵那市の発展にいいのか、それとも今の皆さんの住んでいる街中に、入ってもらった方が、恵那市全体としていい街になるのか。という議論はあった方がよかったと感じた。</p> <p>この先、まちをどうしたかということだ。JR 関係の人たちが集まるとその人たちには便利なのかもしれないが、昔から住んでいる恵那市民と交流をうまくできるかというところで、新旧住民と対立があったりする。その辺がまちづくりの話だと思うので、それは今回すぐには間に合わないかもしれないが、そういった住宅問題にかかわってくるだろうなど、そうでなくてもまちづくりの課題だ。何か事務局側からあるか。</p>
事務局	<p>竹内先生からいくつかのご指摘をいただいた。まず、88 ページの図についての標記はご指摘の通りかなと思うので、わかりやすくさせていただこうと思う。</p> <p>それから住宅地の適地については 69 ページの宅地の供給という所で「リニア岐阜県駅へのアクセスを考慮した住宅地開発の適地調査を実施します」という表現があるがこの辺のところ弱いという指摘である。</p> <p>具体的な位置というか、地域的なところがまだはっきりしてないところがあるかと思うが、まだこの地域については、先ほど委員からの意見があったように地域の対策委員会を中心とした地域と何度か懇談をもっておる</p>

	<p>ところである。そうした中で大きな土地を開発してくというような動きと いうか、熟度が上がっていないため、この辺のところの記述で押さえてい るといところである。</p> <p>それから、都市計画道路網に関しては、また検討させていただこうと思 う。</p>
委員長	その他あるか？
委員	<p>さっきお話したことがちょっと誤解を生じたかもしれないので、要はこ れから十数年間に渡って調査や設計や工事が進む。それぞれの過程をどれ だけイメージできるかというのはすごく重要な問題で、それぞれの段階に おいて市民あるいは恵那市にある企業が何らかのことが出来ると思う。そ れはとっても重要でプラスの面だ。そこをかなり精密に想像できるか出来 ないかによって、想像できないと外部から業者が来て何かやっているのを 我々は見ているだけという状況が十数年続くことになる。それはやはり、 まずいということがひとつ。</p> <p>あとは、今の例えば空き家 1300 戸を使うとか、既に従来あるインフラと いうか、資産をいかに使うかということを含めて非常に短絡的に言うと巨 大な集合住宅が出来るのが一番いいのだろうという感じもするのだが、た ぶんそれをやるとその地域の学区の子供が増えて、おそらく様々な問題が 生じるだろう。</p> <p>あるいは、JR 関係の方々が来たときに地域住民に慣れないという問題も 生じる。その辺はこの委員会ではなく、また後継の委員会でもなんでもい いが、とにかくそういうところでやるのであれば来年度から十数年にわた っていったい何が行われるのかということを確認にイメージした上で、 1000 人くらいの方が、新しく中津川市民になれるか、恵那市民になら れるかわからないが、その動きをどこから、何年くらい前から何をやって いいのかという明確なアウトラインを作ってから、実際に行動に移す。た ぶんそういうことが必要になってくるのではと思う。</p> <p>今回のまさにリニアという全く新しいものが来て、これに対してどうい う風に市が発展できるだろうかと、夢を抱いた委員会ではないかなと思う。</p> <p>その中で、恵那市はこういう風に人口が減少してとか予測される面とか 様々な面があると思うのだが、その中で恵那市民だけでなく恵那市の企業 がいかにコミットできるかということを確認に考えていくと、一番現実的 な答えが出てくるのではと思う。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。この会議が始まったときにはまだ駅の位置が決 まっていなかったところから始まって、今日まで来たという話である。で、 去年の 9 月からほぼここだというのが決まってきた。またそこから新たな 話がスタートしている。</p> <p>一方では、まさに、来るだろうということでやってきてここで一つのま とめになる。その後はご指摘があったように次は工事が始まる。それを考</p>

	<p>えた上でのいろいろな検討会というのがあるのではと個人的には思っている。事務局何かあればご発言を。</p>
事務局	<p>今ご指摘頂いたとおり、推進体制だとか応援体制そういったものが必要だと思っている。例えば基本構想の中にハイウェイオアシスの検討というものもあるが、仮にそういったものが現実的になってくるとすると、費用だとか事業者の協働とか、そういう格好になってくるのだと思う。</p> <p>その他にも行政だけでは出来ないいろいろな事業が構想の中に書いてある。そういったものをこの14年の中に十分な準備が出来て実現化させていくには、どういう組織、応援体制がいいのかといったことをしっかり、シミュレートしながら、作っていかなければいけないと思っている。</p> <p>今の段階で例えばこの構想委員会を推進委員会に置き換えようとかそういうことだけではいけないと思い、実効性がある組織を検討してきたいということで、先ほどの答えと同じように少し時間をいただきたい。</p> <p>十分検討していくのでよろしく願います。</p>
委員長	<p>その他、何かあるか？</p>
委員	<p>私は食のことにに関してあげさせて頂いているが、今ハード面がたくさん出て、食というのは反対にソフト面に近いかと思う。また、観光資源としてもすごく大事なものだと思う。</p> <p>この地域は本当にいい食材がたくさんそろっているので、是非ハード面に負けないくらい食の部門も立ち上げて頂きたいと思う。食に関わっていて感じることは、食に関する組織があるが、現実には組織が弱い。どこに相談したらいいのかわからない。フードアクションに関するようなことも計画していただけたらうれしいと思う。</p>
委員長	<p>食文化の推進などをどうやったらいいか、事務局お答え願います。</p>
事務局	<p>食に関しては、市の中の経済部が中心になって現在進めている。食に関する組織と話し合うような機会があれば、一緒になって出来るような体制を検討していきたい。</p>
委員長	<p>最近小中学校で「食育」という。食べるだけじゃなくて実際にそれがどうやって作られて、どうやって加工されて、どうやって自分の口に入って、またその後残飯とかはどうなるかとか。そういった食べ物に対する一連のことを教育としてやっていこうという学校教育もある。</p> <p>他かにいかが？なければ、2番目の議題、今後の進め方というのを事務局からお願いしたい。</p>
事務局	<p>お手元に「平成25年度『リニアまちづくり構想市民委員会等』の検討スケジュール」という資料がある。ご覧いただきたい。</p> <p>パブリックコメントは、恵那市の2月15日広報でお知らせするということが現在準備を進めている。2月の下旬から3月の中旬の約2週間ほどのパブリックコメントの期間として、第8回のリニアまちづくり構想市民委員会で最終的にまとめていきたい。第8回を3月19日に予定している。こ</p>

	ういう進め方であるのでよろしくお願ひしたい。
委員長	パブリックコメントをすとのことだが、その時に市民に見てもらふ資料としてはどれか説明お願ひしたい。
事務局	基本的には「リニアまちづくり構想（案）」を恵那市のホームページで全編に渡って提供したいと思っている。
委員長	このアクションプランを載せていいのかが懸念されるが、いかがか。
竹内アドバイザー	このアクションプランは、趣旨に誤解を与える恐れがあるので、公表するならもっと手を入れないといけないと思う。これは外したほうがいいのではないかと思う。
委員長	少しまだ早すぎるのかなというのは感じるころ。怖いのはこれが一人歩きすること。アクションプランまで入れて構想っていうのは、構想の名前から言うと重たい。
委員	私も先生がおっしゃるようにこのアクションプランを載せると項目がある程度限られてくる。項目が限られるっていうのはあまり良くない。なので、アクションプランは外された方がいいのではないかという気がした。
委員長	ありがとうございます。ではそういうことでお願ひしたいが事務局側はどうか。
事務局	委員の方々、先生からもご意見いただいたので、検討させていただきたいと思う。
竹内アドバイザー	<p>パブリックコメントにかけるものとしては外すということ。最終的にリニアまちづくり構想の報告書として、3月の第8回の委員会を経た後でまとまるわけだが、そこで入れるか入れないかはその内容によって判断すればよい。アクションプランとして今一番大事なアクションは、都市計画マスタープランの見直しをすぐに始めるとか、道路計画の見直しを始めるとかだと思う。それから今の市民からの相談窓口の設置などそういうことが入っている形にしなければいけない。</p> <p>もう一つはこういう計画書において、アクションプランというのは、委員会が報告したものじゃなくて、それを行政の方がどう受け止めてアクションを起こすかということの答えである。そういう意味からいくと今パブリックコメントにかけるべきは市民委員会がこういうまちづくり構想を作ったので報告するということである。</p> <p>アクションプランのことについては、第8回目の委員会のために話し合えばいいことで、パブリックコメントの手続きではアクションプランは外していいのではないかと思う。</p>

委員長	アクションプランでは内容が細かな事が書かれていたり、大雑把なものがあったり混在していて、少し整理が必要だ。アクションプランの作り方も含めて十分検討された方がいいと思う。
事務局	はい、承知した。今回のパブリックコメントについては8章までとし、今回いただいた意見を踏まえて少し訂正もさせていただく。
委員長	では、そういう形でよろしく願います。あとその他で何かあるか？
事務局	それではリニアの整備にかかる最近の動きをご説明させていただく。
事務局よりリニア整備の最近の動向に関する資料説明	
事務局	第8回を3月19日水曜日の午前10時から予定している。また、委員さん方にはそれぞれご案内をするよろしくご出席のほどお願いしたい。
委員長	それでは私からの司会は終わらせて事務局に進行をお返しする。
事務局	それではお疲れ様でした。今皆さんから伺った意見を取り入れてまたパブリックコメントを行いたいと思うので、よろしく願う。どうも今日はありがとうございました。